

KOBE MODERN CULTURE

音楽



★小澤征爾の ポストン交響楽団

2月25日(火) 19時神戸文化大ホール
 S130000円 A110000円
 B90000円 C80000円
 D70000円 E60000円
 28日(金) 19時アルカイクホール
 A160000円 B140000円
 C120000円 D100000円 E80000円

小澤征爾がポストン交響楽団の音楽監督に就任して13年目。5年ぶりの日本公演となった今回はベートーヴェンの交響曲第三番英雄(尻崎では第五番運命)がプログラムされている。



征爾の境地
小澤 円熟
てきた に入っ

小澤征爾指揮のコンサート聴き応えのあるひとときとなるであろう。

美術



★横尾忠則、三宅一生を デザインする

5月15日(土) まで西脇市岡の山美術館 10時~17時(入館は16時半まで火曜日、祝日の翌日は休館) 大人300円 大・高生200円 中・

小生100円

世界のデザイン傾向と、日本特有の美感との融合をはかりながら、グラフィックアートにその表現空間を拡げた横尾忠則。今回は、



デザイナーをデザイン

テキスタイルに焦点をあて世界を舞台に活躍するファッションデザイナー、三宅一生のデザインを意図して制作した作品群を紹介するポスター、ダイレクトメール、広告など40点あまりによって構成されるこの企画展、横尾忠則の一面がまた浮かび上がってくる。



舞踊

★ジョン・ノイマイヤーの ハンブルク・バレエ

2月13日(水) 18時半 神戸国際会館S席150000円 A席130000円 B席110000円 C席90000円 D席70000円

1973年にハンブルクバレエの振付家になって以来、高い評価を受ける想像力豊かなその振付けの特徴は、古典バレエを新しい劇

的な概念で再創造している点である。

今回の公演では、パツハの管弦楽組曲第3番、モーツアルトの交響曲34番ハ長調K338、そしてノイマイヤーが好むマーラーの交響曲第4番というプログラムである。新鮮なモダンダンス



モーツァルト34番の技法
モーザルト34番の技法
期待の
ハンプ

ルクバレエ公演である。



演劇

★砂漠に消えた幻を求めて ミュージカル「楼蘭」

2月26日(水) 18時半 神戸国際会館 30000円

シルクロードのほぼ中央華やかな東西文化の融合の地、楼蘭。この国でタクラマカン砂漠とその砂の音を歌や踊りにたくして暮らす娘、シヤロン。ある日ロブ

ノールの湖で記憶を失った中国の武将傅介子と巡り合い恋におちる。砂漠で会う二人を襲った砂嵐の中で、砂塵がやがて、互いの忘れ去っていた遠い過去を呼び

さます。蘇ったその記憶とは…。5年ぶりの再演となつたミュージカル。



エキ
夏子
ゾチ
ツ
汀ク
なロ
マン

汀夏子、加納竜、三條美紀らの出演で広がってゆく。

★サヨナラ・サンセット
2月13日(水) 尼崎ピッコロシアター 18時45分 一般25000円 高校生20000円

ロサンゼルスの高級マンションに住む留学生ジュリー(吉行和子)と未亡人ゼツ夫人(橋爪功)。どんな豪華な調度品も、ドレスも高級車も余生を保証した貯金通帳も、沈んでゆく太陽を止めることはできない。

吉行和子と橋爪功という異色実力派コンビで、国籍年令の異なる二人の女の孤独な一日を描き出す。

★上平田裕子コンサート

2月8日(土) 18時半神戸国際会館指定50000円 自由席28000円

歌手生活15周年を迎えたシヤンゼリゼの上平田裕子が「おお、我が人生」と題して、愛と夢のはざまを「バラ色の人生」「枯葉」



上平田 裕子
などの歌にのせて綴ってゆく。



映画

★これがバイオレンス
イヤー・オブ・ザ・ドラゴン

2月上旬より朝日会館にて上映
一般1500円 大・高生1300円

イタリアン・マフィアを

麻薬シンジケートから追出し、その暴力支配の恐怖



クールに燃えて、いま

を全米に拡げ続ける影の組織「チャイニーズ・マフィア」。この組織壊滅に挑む一人の男。ペトナム戦争を生き残り、その忌しい過去を清算しようとするニューヨーク市警部長刑事、スタ

アのドンにのし上がろうとするジョーイ・タイ。この二人の対決を描くマイケルチノミ監督作品、お見逃しなく。
★この映画のチケットをう名様にプレゼント、希望者は葉書に住所、氏名を明記、神戸っ子「朝日会館」係
★ハチャメチャなコンビ
「マイナー・ブラザーズ」
2月中旬より国際松竹にて公開
一般1500円 大・高生1300円
マイナー・ブラザーズの
だめピツチャヤ、グルーチ
ヨ・モンテイとキヤツチャ



賭けた、だ。しか

1のふとつちよスパイク。勝てない試合に、酒と女、ケンカの毎日。そんなモンテイに70億もの遺産がごろがりこんだ。しか
で全部を
使い果た
せば、さらに70億もの遺産が入るといってつてもないお話。ハチャメチャパツテリーの70億の賭けは……?
★この映画のチケットをう名様にプレゼント。希望者は葉書に住所、氏名を明記。神戸っ子「松竹」係へ。



音楽

★フレッシュ・スプリングコンサート

2日(日)13時半 曹屋ルナホール
大人1000円 小人(12才以下)800円 親子ペア1500円

★パレンティンコンサート
母と子のための音楽会

9日(日)12時 15時 曹屋ルナホール 大人800円(当日900円) 小人500円(600円)
ガミオとジュリエット くるみ割り人形 他

★ドンナホールシャンソン
湯井一葉 in KORE

21日(金)18時半 生田文化会館2000円

★内藤謙「コントラバスサイタルピアノ」右近恭子

28日(金)18時半 生田文化会館2階大ホール 1500円(飲物付)

★ハープとフルートのデュオ
フルート・待永望子

28日(金)19時 風見鶏の館1500円



演劇

★民芸公演

「払えないの？払わないのよ」
出演/奈良岡朋子 大澤秀治 他

1日(土)18時15分 2日(日)13時半 神戸文化ホール 3000円

★劇団緑線「ガラスの動物園」

1日(土)8日(日)14時 18時半 2日(日)9日(日)14時 6日(木)7日(金)18時半 シアターボッシュ

14日(金)18時半 15日(土)14時 18時半 16日(日)14時 18時半

ピッコロシアター 一般1200円(当日1400円) 大学1000円(1200円) 中高生800円(1000円)

★劇団花伝ツア

舞踊詩「春の踊り」花伝ツア
ピッコロシアター1500円(当日1800円) 学生1300円

★文学座公演

「欲望という名の電車」
出演/杉村春子 ほか

20日(土)21日(日)22日(土)18時15分 23日(日)13時半 神戸文化ホール 3000円

★「恋愛論」

出演/栗原小巻 鈴木瑞穂 池田勝

28日(金)18時半 3月1日(土)13時半 18時半 2日(日)13時半

3500円 学生3000円



映画

★市民映画劇場「さびしんぼう」

20日(水)21日(金)18時半 22日(土)14時 16時15分 18時半

神戸文化小ホール 500円

★桂米朝独演会

15日(土)18時半 16日(日)18時半 19日(水)18時半 神戸文化小ホール 2300円

★古典芸能

ピッコロシアター 2200円 中高生1800円

★そのころ美術画廊

タイ王国有名作家絵画展

1/30/2/5

第6回ブライアン・ウィリアムズ水彩画展

2/8/2/12

進徹洋画新作展

2/14/2/19

第20回日本刀剣展

2/21/2/26

★そのころ美術画廊

タイ王国の工芸品展

1/30/2/5



映画

島田利一・高橋敏洋画二人展

★泉民アートギャラリー

第31回公募神戸二紀展

★兵庫県立近代美術館

墨の美

★生田神社会館

佐野弘利展

★さんちかホール

★さんちかホール

★サンバル市民ギャラリー

神戸洋画研究会展

第2回岸の会水彩画小品展

第4回魚崎清流室作陶展

光玉会七人展

サンアート展

★大丸美術画廊

新春茶道具逸品展

ヨーロップ巨匠版画展

加賀工芸逸品展

期末絵画工芸展示即売会

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより

ST. VALENTINES SPECIAL

♡ 風月堂

今年の風月堂バレンタイン・コレクションのテーマは「感度ピツ、ピツ。ハートのテレパシー」。アダルト、ロマンチック、バラエティ、バスケットの各シリーズが、バレンタインムードを盛り上げるアイテムとして、バレンタイン・コレクションに、明るく煌めく愛をファンタスティックなチョコレットにのせて、テレパシーしてみませんか。好評の「パーティバレンタイン」もおすすめ品です。

バスケットシリーズ

♡ モロゾフ

「ふたりの世界・愛の国」がテーマです。チョコレットに託して「愛をたしかめる日、人と人との関わり方によってさまざまな形の愛が生まれます。浪漫の国、情熱の国、伝統の国、実りの国、神秘の国、夢の国、青春の国、未来の国、それぞれの愛がつくり出す空間を「国」になぞらえ、展開します。アダルトなウイ



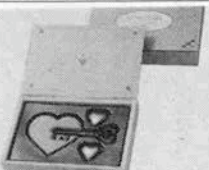
手紙で送れるチョコも

キーボン
ボン。素朴なナツツチョコ
ファンタジックな
チュール
レールの
シリーズ。
ズ。二人

の「愛の国」を見つけてみませんか。

♡ ユーハイム

七十六年ごとにあらわれる、ハレ一星をテーマに、今年のユーハイムは「めぐり愛」を展開します。ポップなチョコレット(¥3000・1500)のほか、ラズベリムースのハートムース。また好評のハートケーキも登場します。おすめは、ミニハート
「パーキン
タイン・
タルトレ
ット」(2
ケ入¥5
00、4
ケ入¥1
000)。
ユーハイ



彼の心のキーをキャッチ

ムですてきな「めぐり愛」をどうぞ。

♡ ユーハイムコンフェクト

「愛・いつまでも……やさしく」バレンタインの永遠のテーマ「愛」をメインに、ファンシーなチョコレットをお送りします。愛する人にはいつまでもやさしくありたいもの。素直な気持ちをさげなく伝えたいものです。ね。お父さま、先輩の方々ご主人、恋人、グループの友人など身近な存在であるからこそ、思いやりをチョコレットに託してみませんか。



食ステージのチョコ

♡ 本高砂屋

バレンタインテーマは「愛情美学」へ Sweet・Secret・Soft・V 少女から大人の女性まで、それぞれ時代に合った愛情表現があり、ドラマがあります。そこで3つの女性のタイプをテーマに路線を分けてみました。



アダルトなあの人に

♡ ベル

2月14日は女性から男性へ心を伝えるステキな日です。街のウィンドーが華やかに色どられるとステキなプレゼントを添えてそっと心に秘めていた想い、いつも感じていること気持ちを伝えたいですね、あの人に。



想いを詰め合わせて……

お気に入りチョコやクッキーを素敵な箱に詰め合わせ、想いをこめて贈ってみませんか



ティスティーチョコ

♡ コスモポリタン

トラ・ショコラティエがあります。選りすぐりの手作りチョコレットをシックな洒落たパッケージに詰め合わせました。中身本位のシジメな扱い。チョコレットメーカーならではの豪華なチョコレットです。

お気に入りチョコやクッキーを素敵な箱に詰め合わせ、想いをこめて贈ってみませんか



FAIR

●メーブル不二屋が神戸店新装10周年フェアを

昨年11月28日から5日間、メーブル不二屋'85特別企画として神戸店の新装10周年記念フェアが開催された。メーブルオリジナルの家具をはじめ、イタリー製、フランス製の輸入家具が店内いっばいに特別価格で展示され、日頃からの家具ファンを喜ばせた。なかでも、食卓セット、サイドボード類、キャビネットが好評で、値段も50%OFFのため、30代後半から40、50歳の実年世代に人気が高かった。

明治8年創業以来、充実した家具づくりを続けてきたメーブル不二屋だが、今後とも、品質のよい落ち着いた神戸らしい家具を提供してくれることだろう

PEOPLE <41>



●お客様の好みを大切に買物の手伝いを 安藤 輝雄さん〈株式会社三愛 三宮店長〉

東京で企画部に3年半席をおいたのち神戸に戻ってきた安藤さんは、実は神奈川県川崎市出身。「東京にいる以前6年間ほど神戸で勤務してまして、住むには神戸が良いと思った訳です」三愛に入社して23年目を迎える。「これからは若いOLを対象にグレードアップも考えています」来年の8月に改装予定。旅行好きの安藤さんの活躍が期待できそうだ。

TOPICS

●おもちゃのカメヤが、1月3日・6日、さんかホールでもちやふアを実行した。正月休みあけて家族連れで賑わい、お年玉で財布の重いチビッ子たちの熱いまなざしが、リモコンカーや、テレビゲームなどに注がれ売れ行きは上々だった。

●田崎真珠三宮店で2月1日・11日、ネックレスセールが開催される。人気の高いマパールや、黒真珠のネックレスをこの機会に購入されてはいかが。

●婦人服のベニヤ銀座店が、2月2日フレッシュオーブにする。洗練された神戸感覚



●クロスより バリーのセカンドバッグを

婦人・紳士靴と舶来雑貨の老舗クロスより、英国ブランドの「バリー」のセカンドバッグを1名様にプレゼント。茶の地にきざ茶の地紋織。中は本皮でできっており、上質で縫製もしっかりした品物(¥19,000)です。受け取りは、神戸っ子編集室まで



●ベルより コフレディッシュを

10月に新発売されたクッキース「コフレディッシュ」を今回は5名様にプレゼント。ページクッキーが14種類入った詰め合わせです。ティータイムにぴったりマッチの美味しさ。商品の受け取りは、ベル・センター街本店までどうぞ。

PRESENT CORNER

●応募方法 ●薬書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町13-1大神戸ビル9F「月刊神戸っ子」神戸百貨店会館プレゼント係までご応募下さい。1月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選薬書を発送、薬書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

をオンラインするニュートレンドショップとして、気品あふれる神戸らしさをきわだてたお店になりそう。

●ベニヤ銀座店(東京銀座ニューメルサ1F ☎03-574-8012)

●ゴールポートピア88で、2月1日(土)午前10時から午後8時までブライトフェアが開催される。披露宴のお料理、衣裳、引出物等の展示をはじめ、模擬披露宴、ご婚料料理ご試食会、又セミナーやチャペルでの聖歌隊、オルガン、ゴーストによるミニコンサート等のはのファッショナブルなブライダルすてがわかる。

中央区港島中町七(二二二) ☎302-1555

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

〈神戸のファッション都市化をめざす〉

K.F.S. news 112

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F

月刊神戸っ子内TEL (078) 331-2246

'85 K.F.S Christmas Party

《世界のクリスマス》

アメリカ アフリカ ブラジル
アジア ヨーロッパ

12月20日、元町風月堂大ホールで、恒例のK.F.S. クリスマス大会が開催されました。今月のテーマは《世界のクリスマス》。アメリカ・タンザニア・ブラジル・インドネシア・イギリス5カ国の国旗をテーブルに掲げてのスタートです。ゲストシンガーには、シャンソン歌手の堀郁子さんを迎え、ピアノ演奏は中田実郎さんという豪華コンビ。荒津会長の挨拶にはじまり、ジャンケンゲームで会場は、一気に盛り上がり。リングまわしゲームでは、男女10人による5チームが、口にくわえたつまようじだけで勝負をかけ、男女の熱い粋に、思わず会場からは悲鳴が聞こえていました。恒例のK.F.S. フィーリングカップルファッションショーは、男女10組によるナイスカップルを選出、その場で誕生したカップルとは思えぬフィーリングのよさに、ファッション都市神戸も感じられます。今年の目玉はコーヒーベロメーターゲーム。5カ国のコーヒーをそれぞれ飲んで種類を当てるというゲーム。コーヒー通の女性が見事パーフェクト達成。沸きに沸いたひとときでした。今年は全員に商品が、からくじなしの抽選会では皆さん、ホクホク顔。毎年盛り上がりムード満点となるK.F.S. クリスマスの最後は、キャンドルサービス。全員でクリスマスソングを合唱し、1年間の思いを込めたともしびを胸に幕を閉じました。



ムード満点のダンスタイム



今年の目玉ゲーム



ジャンケン ポンノ



こんな場面も



堀郁子さんシャンソンタイム



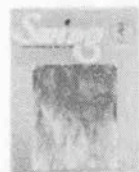
ブラジルチームのみなさん



服部ご夫妻は仲むつまじく



実行委員長より閉会のあいさつ



「スイング」第4号

●2月のマンスリーサロン

日時／2月21日(金) P.M.6:30~

場所／市立勤労会館4F

講師／谷岡郁子〈神戸芸術工科大学設立
事務局運営委員長〉

NEWS

K.F.S.会誌「スイング」第4号が発刊しました。「真珠」をメインテーマに、盛りだくさんのKOBEファッション情報を満載したファッションマガジンです。



谷岡 郁子 さん

びっと・いん



★トアロードに民芸風

ステーキハウスが開店

昨秋、三宮に新しくステーキハウス「ステーキ房泊瀬川」がオープンした。

味、雰囲気ともに上々だと早くも食通の間で評判になっている。調理を担当しているチーフは、この道35年のベテラン。泊瀬川ならではの味づくりに専念している。特色は、店内の造りにもある。民芸調だが文字通りの「本格派」。単に見場がいだけではなく細部にまで職人芸の粋が伺える。言ってみれば味と雰囲気、分けるアダルトのためのステーキハウス。それが「ステーキ房泊瀬川」だ。



落ち着いた店内

ハメニュー泊瀬定食 ステイク・サラダ・ステーキ・ライス・コーヒール
2500円 11:30 AM ~ 2:30 PM

(M) サロインステーキ3000円
エビフライ定食3500円、ステーキコース618000円。
□神戸市中央区三宮町2-9-13 (トアロード・ソニーショップ西入)
332-6516 11:30 AM ~ 9 PM

★寒い日にはおそばと

焼酎のそば湯割で
オフィス街の真ん中にある



店内にはいろいろも

る知る人ぞ知るそば屋さん。店内にはいろいろが仕込まれてあり京風の落ち着いたムードは、本格派手打ちそばにふさわしい。

おすすめはお昼のつる庵弁当。日によって変わるメニューはボリュームもたっぷり、お値段もお手頃(¥500)。ただしお昼一番に行かないと逃がしてしまいうから要注意！他にも有田焼の鶴の土鍋を使った「つ

る鍋」や「つるそば」など特製メニューが豊富。焼酎のそば湯わりもお試しを。
□中央区加納町6-6-2
ハニビルB1 3331-0260 11 AM ~ 8 PM
日祝休

★北野町に新名所が

またひとつ増えました

昨年12月10日、北野の白い異人館の北側にある「サルーテ北野」の地下に「レストラン・サルーテ」が、オープンした。昼は、喫茶タイムで、ケーキセットやスパゲティが好評。ディナーは夕方5時からで、フランス料理主体のコースメニューになっている。数あるメインディッシュの中でも「平目のブシエルモット風味」「鮭のムース詰めトマト風味」は、サルーテのシエフのおすすめ品。店内は



オープン記念のパーティ風景

白木の家具で統一され、アットホームな雰囲気。ピアノもあり、小バーティにうってつけのお店だ。

■中央区北野町3-14-13
078-2519060 (地下)

●神戸うまいもん とドリンキング

メキシコ料理亭

ティファアーナ

中央区中山手通1-21-13
パルココーポラスビル1F
24210043

ティファアーナにはギターをベースにしたカクテルが豊富に揃っている



ライブ演奏もあります

トロピカルな甘口のティファアーナ・サンライズ、テキーラとコーラのメヒコ・リブレ、メキシコ風味ティニーのテキーラ・マティーニ、とてもフルーティなエル・バルコ、さらにドライなバンチはティファアーナ・パンチータなどなど。とにかくカラフルで、見るだけでも楽しい(71800円)。ティファアーナの「自信作」はナランハ(1200円)実はフレッシュ・オレンジ・ジュースなのだが、カクテルもできる。その他、ラムベースやウオッカベースのカクテルも各種あり、若い女性に大もてのティファアーナだ。

ポケット ジャーナル



★「具体」展

スペインで大好評！
スペインのマドリッドで



スペインで開催された「具体」展
県立近代美術館の開館15周年記念事業として、日本の近代美術を代表する

「具体」グループ展が開かれ、「日本の現代美術に欧州が圧倒されている」と大きな反響をよんだ。

開会式は12月20日、国立現代美術館でレセプションが開かれ、在マドリッド・スペイン大使や二百人以上の美術関係者が集い、アントニオ・サウラ氏と山脇一夫学芸員が講演を行った。また答礼の夕食会に関係者六〇名を招待し、小山泰三次長がスペイン語でスピー

チを行う等盛況であった。

「具体」グループは一九五四年に故吉原治良氏ら関西の青年美術家によって設立され、七二年の解散後も、元永定正・白髪一雄氏ら鋭い作家の活動は海外で高い評価をうけている。

「具体」展はこの後ユーゴスラヴィアでも開催される。またお返しにミローの所蔵の絵で今まで海外に一度も紹介されたことのない作品ばかりが県立美術館で夏から秋にかけて公開されるそう、またまた話題となりそうだ。



牛尾治朗氏

社と松下政経塾主催の「神戸新聞フォーラム」が2月5日神戸国際会議場において開かれる。

テーマは「異業種進出時代の経営戦略―生存と発展

のための変身―」現在各企業がおかれている状況の中から「企業内起業」や「異業種進出」の動きが出ているがどうすればこの波に乗れるのか、同じ悩みを持つ経営者どうしが知恵を集め協力してネットワークを組み、新事業を生み出す条件は何かについてさぐる。

ウシオ電機株式会社牛尾治朗氏の記念講演「ニュービジネスへの挑戦」、日本工業大学教授竹内淳彦氏の基調講演「異業種進出時代の経営戦略」の後、集約情報セッション「新事業を生み出すノウハウと環境」を4人の講師の話と松下政経塾のレポートにより多面的な情報、知恵を整理、集約した形で参加者に提供する。

★パリの街角の四季を描く赤木曠児郎が神戸で個展岡山市生れ（一九三四年）で、岡山大学理学部出身、科学技術庁私費留学生として渡仏し、一九六三年。



近作の前で赤木夫妻

パリ国立美術学校に在籍以來、パリに魅せられて、異色の日本人画家「赤木曠児郎」は、パリの街角の四季を描き、パリの広重的な作風を築いている。

誕生日 ありがとう 運動



古切手収集にご協力をみなさんの家庭や職場では、古切手は捨てられています。古切手は「福祉の旅」をさせてください。

古切手（使用済の日本・外国どんな切手でも可）の周囲を約一センチ程を残して切りとり、誕生日あたりがとう運動に送っていただけませんか。折り返し運動参加カードと啓発紙を送ります。

みなさんからいただいた古切手の売却金は、この運動の目的のちえおくれの問題の啓発資金になります。

古切手は、毎月定例の整理日に主婦ボランティアの手によってよみがえります。その作業は、①分類②はがす③台紙袋づめ（切手サイズ別に）④値つづめ。こうして、美しくできあがった古切手セットは、幼稚園やそのほかのパザールと福祉の店などで販売して、啓発資金となります。

みなさんがあたたい気持ちこそえて寄せていただく古切手を、こうして高福祉社会づくりの一翼をなっています。

「誕生日ありがとう運動本部」
651神戸市中央区御幸通八十一六
神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話二五一八六一内線三一六

十一月二八日〜十二月三

日近作展が、神戸大丸美術画廊で開かれ、パリのジバンシイサロンの優秀な仕立人として活躍していた香与夫人と共に来神し、詩情漂よう風景を、繊細な筆致と透明感のある色調で、油彩デッサン、版画を披露した。

「パリの街角でデッサンしその場で仕上げてしまふんです」という赤木画伯のパリへの思い入れが匂いやかな近作展だった。

★鴨居玲さんを偲んで

チーム展

二紀会兵庫支部会員で結成している野球チーム「神戸二紀ゴールデンチーム」のチーム展が昨年12月22日から27日まで三宮町のギャラリーほりかわで開かれた。同チームは結成10周年、過去8回の美術家野球大会で優勝3回という輝かしい成績を誇る。



鴨居氏を偲んだチーム展

「昨年9月に急逝した鴨居玲君を悼み、彼の10年にわたる肝入りに敬意を表し」

(中西勝オーナー) 催された10周年記念展にはスケッ

チ「婦人像」で鴨居さんも参加。鴨居さんのユニフォーム姿を描いた知念正文監督の「白球」等、中西勝オーナー以下24名が一点ずつ出展。会場に飾られた鴨居さんのユニフォーム姿の写真に入場者は同氏を偲んで懐しんでいた。

★書店でめずらしい

「地酒フェア」



3年前のフェア風景

月11日
から月
末まで
「地酒
フェア
ル・グ
メル
ンド」
が催さ
れる。

3年前のフェアでは全国の地ウイスキーを紹介したが、今回は「神戸の地酒を見直そう」と神戸・明石の地酒に限った。醸造元は約一〇〇社、約一、〇〇〇銘柄ともいわれる神戸の地酒の中から珍しいものを選んでみる。

酒と料理の本と地酒の展示・即売、更に醸造元の歴史や由来、お酒の特徴などを視覚的に紹介した珍しい催し。

「お酒も料理に合わせて飲

み分ける時代。バラエティに富んで多様化してきているのを知ってもらって楽しんでもらおうと企画しました。」と島田誠社長。辛党のあなた、お見逃しなく。

★「神戸ゆかりの

源平浮世絵」出版される

さきに「写楽は十八歳だった」(里文出版・二〇〇〇年)で大胆な新説、ユニークなナゾ解き、推理の面白さで話題になった、洋画家で浮世絵コレクターの中右瑛氏の「神戸ゆかりの源平浮世絵」がこの程出版された。

(創樹社美術出版・八〇〇円)

この本は源平八〇〇年を記念して出版された「源平浮世絵のロマン」が好評を博し増刷されるのを機に神戸ゆかりのものを主として再編集し改訂版としたもの。



「神戸ゆかりの源平浮世絵」

源平浮世絵は歌川(安藤)広重、酒井抱一、歌川国芳などの浮世絵師によって源平の合戦の中に江戸庶民のさまざまな感慨が込められ、幕末騷擾の世相が反映されたもの。映画・テレビのなかった時代の庶民の娯楽の一つとして大いにもてはやされた。写真とエピソードを紹介した中右氏の解説で源平のロマンが楽しめる。

図書ガイド



旬集

「パースの秋」

伊丹公子



著者の第七番目の句集で一九八二年から一九八五年までの俳句二〇七句を選んだもの。

「旅は日常の延長の思い」と言う著者がシンガポールやスペインなどを旅行しながら詠んだ異国情緒溢れる作品と、伊丹三樹彦氏撮影の美しい写真で読者を魅了する一冊。八牧羊社二〇〇〇円V

「手づくり

事給本」



ゆめゆめしおの袋、お遊び小もの、ツカ風お好み焼き、遠くへ行きたい弁当等楽しい呼び名のついた手芸と料理の数々。著者の「小説」に登場する手芸と料理も紹介されている。全項目にエッセイが付けられていて「夢絵本」という言葉がピッタリ。日々の暮らしを彩り豊かにする手づくりのヒントもたっぷり。

巻末に各分野の専門家による作り方が載っているのも嬉しい。八講談社文庫 五八〇円V

「わたしは

英語が

大好きだった」



宮本美智子

著者はアメリカ生活17年。現在美術展の企画、開催のディレクターとして活躍中。英語が大好きな少女の留学、ニューヨークOL勤め、結婚、自立を通過しての知的好奇心に溢れた爽やかな英語青春記。「はつきりNO!」と断言してみたら「ニューヨーク病にかかったら」「まじじい」も英語で言えたら「など楽しい目次の活きた英会話の本」本々文藝春秋刊二二〇〇円V

★患者・医師に朗報！

医療費が分割払いに
今まで、歯の治療や出産などでの保険外費用が高く、困っていた人のために医療費が分割払い出来るというシステムができた。



分割払いで明るい治療を

九州・福岡に本社をもつ日本医療クレジット事務センターの
神戸での
特約店として
グロス
が、患者
と医師、クレジット会社の仲立ち業務を行なっている「アメリカでは医療費の

分割は普通。日本でももっと活用されるようになれば……。」と同社代表の細長さん。

このシステムにより、患者は安心して治療が受けられ、医師側も不払いのトラブル回避と患者確保につながり、これからこのシステムは大いに利用されそう。

■お問い合わせ 2422-04801
神戸セントラルグロスまで。

★間島一雄書店

古書目録第二十号出版
須磨で店を開いて六十余年になる間島一雄書店より第二十号の古書目録が12月に出版された。慶応三年出版の兵庫の一番古い新聞と

花時計



神戸の個性を創る

最近では情報化の時代といわれる。いろいろな情報が発信されて氾濫している。だから、一つの情報が発信されると全国を駆けめぐることになる。

例えば、神戸がファッション都市を宣言すれば京都も大阪も福井もと名乗りがあがる。神戸をコ

思われる「倫敦新聞紙」を始め、約七、三〇〇冊が収容されて



店内で間島保夫氏

月の大
半は旅行
をしなが
ら全国津
々浦々の

古書市を回って本を求めの間島保夫・良典さんが探した逸品ばかり。出版直後より、全国各地のマニアからの注文が殺到している

神戸店
神戸市須磨区行幸町3-18-20
078-7332-6571
梅田店
大阪市北区芝田1-6-12
阪急古書のまち
06-3733-0116

という形になる。

個性化の時代に都市もまた個性を育てなければならぬ。まず、街のたたずまいも一味違う個性を持たねばならない。

例えば、神戸まつりは大阪の御堂筋パレードとは一味違う演出が必要になる。

神戸のあらゆる催しにより神戸の個性を創るものでなければ、神戸は本来の神戸らしさを失うことになり、個性のない二流都市に転落する。

△YV

KOBE POST

★株式会社大月真珠（大月真珠社）の新社所ご案内（大月真珠社）

港島中野6丁目4番1 総務部 4

(303) 2111 営業部 (303) 2115 FAX (303) 2110 宝飾部

(303) 2121 FAX (303) 2120 加工部 (303) 2125

★関西電力株式会社神戸支店の福川幸秀支配人が、十二月二日付で社長室付に栄転。後任に、加古藤明支配人支店長が就任されました

★三十七年間に亘って小川洋哉学院（故小川精校長）と共に歩んだ妹尾光子さんが、学院の閉鎖のためしりぞき、今後は兵庫県洋裁学校連盟・（財）日本洋裁技術検定協会兵庫支部事務局に、全力を傾けられることになりました。事務局 650 神戸市中央区北長狭通4丁目3ノ13 兵庫県私立会館内 4

(41) 8906 自宅 658 神戸市東灘区岡本6丁目13ノ1 404 41

5495

★株式会社ジェン株式会社ジェイ・アンド・アール（代表取締役社長・佐々木忠）の関西支店が、ポインランドのファッショントウンに新社屋を竣工。新住所 神戸市中央区港島中野七ノ六

★フリーライターと司会の嘉納純子さんから NEW・OFFICE のお知らせが。〒531 大阪市大淀区豊崎3-18-15 朝日プラザ梅田 II 1-002 2 3755-1594

41

★十一月二十三日、歯科医の専門病院におつとめの竹内英資さん（31）と神戸二紀会の西村功画伯のお嬢さん西村みどりさん（30）が YMC A で卒業式。北野クラブで披露宴を催されました。

★佐本小児内科の佐本進先生が脳障害児の治療で知られる人間能力開発研究所（米國）のジャパノオフィスを一ヶ月十一日神戸、三宮にオーブンしました。

★知香流宗家の成瀬香櫻さんが一月五日に逝去され一月十一日東極楽寺でお葬式がありました。心よりご冥福をお祈り致します。

★計画工房 DNA の高月昭子さんが自宅を転居。新住所は〒657 灘区桜ヶ丘町10-48 電話 (83) 12331

お酒を通してふれ愛が

榎 晴夫さん
 <トム・キャンティオーナー>
 きく人/大谷 晃世
 <KK大谷徳風社社長>



榎 晴夫さん



大谷 晃世

大谷 今月はお酒の特集号なので神戸のたそがれ文化に貢献なさっているトム・キャンティの榎晴夫さんに、お話を伺いたいと思います。いくつかの時からですか？

榎 21才の時からで、今年で32年になります。年が判りますネ(笑)

大谷 どんなキツカケですか？

榎 わが家は大変真面目な堅い方

美しいものが好きだし、はなやかなものが好きで…。この仕事でそれが定着したので、思索の中に入りこみたい体質が、身体を動かすことでふつ切れましたね。何しろサービス業は、頭脳を使うことと、身体を使うことが、うまくコントロールできないと駄目ですから、対人関係の中で「人を見る」という力を養うことができたのです。

大谷 神戸のたそがれ文化についてお話くださいませんか？

榎 神戸の文化は、星だけのものではなく、星と夜が揃わなければ文化は生れないと思うんです。いい食事、いい音楽、いいお酒を通して話し合い、精神的なぜい沢さがあって「発想」が生れてくるでしょう。だから我々は「夢を生み出す仕事」ですね。お酒の場では、人種差別も職業の貴賤もありませんから、自分自身を主張して話し合える良さがありますね。だからこそぼくは、お酒を通じて話し合える市民性の高いものを目標に店づくりをしてきたんです。昨日を忘れ、今日を語り明日を夢みる、そういう意味の場所提供をして、人の出会とふれ愛を健康的にと、ワシントンホテルの一階を選んだのです。

大谷 社団法人日本バーテンダー協会の支部長さんを九年もされ、今相談役でお忙しいでしょう。

榎 関西本部の副会長も七年目です。ミナト神戸は、GOOD BARの発祥地ですし、ふんだんに舶来酒があるので、バーテンダーにとっては環境と条件が全国でも一番いいし、外国からの知識の導入も早いから、職人肌の人々が沢山頑張っているんです。

大谷 葬儀に出られて感じていらつしやることをお聞かせ下さい。

榎 お通夜るとき、身内の人々は気が動転して何をしていたいか判らないことが多いと思います。そこで、私のアイデアなんです。葬儀社でお酒を出される器を考えて準備していただきたい。そうすれば、身内の人には意外に判らない故人の生き様を、通夜の客が、お酒を通して語り合う場が持てるでしょう。それが、とても大切だし、身内の人々にも喜ばれるのではないでしょう。

全葬連認定「葬祭専門士資格取得者」
 株式会社 大谷 徳風社
 代表取締役 大谷 晃世

全国葬祭事業協同組合
 神戸葬祭事業協同組合理事
 神戸市規格葬儀取扱指定店理事
 本社/神戸市市長区松野通1-11-12
 電話 078-621-10089
 鈴蘭台支店/電話 078-592-5485

三平の やぶにらみ見聞録

小関 三平 (神戸女学院大学教授)

《その4》



世界の誇り灘の銘酒

― 厳寒の酒蔵を訪ねて

「神戸っ子」たるもの、つねにファッショナブルでなければならぬ。となると、洋酒ばかり飲んでるようではダメである。古い、ダサイのである。

なぜなら、いま、時代の先端を切るヤング・レディーズのあいだでは、焼酎だけでなく日本酒の見直しが始まっているし、わが「灘の銘酒」の海外輸出(2800kl)は、急速に伸びる一方なのだ。

SAKEは、日本文化を代表するモノのなかでも、もっとも歴史が古く、もっとも日常的な一つだが、諸外国は、いまになってようやく、それに気づき始めた。

つまり、日本酒は、国際化時代の文化交流の先兵であ



熟練の技で練り上げる

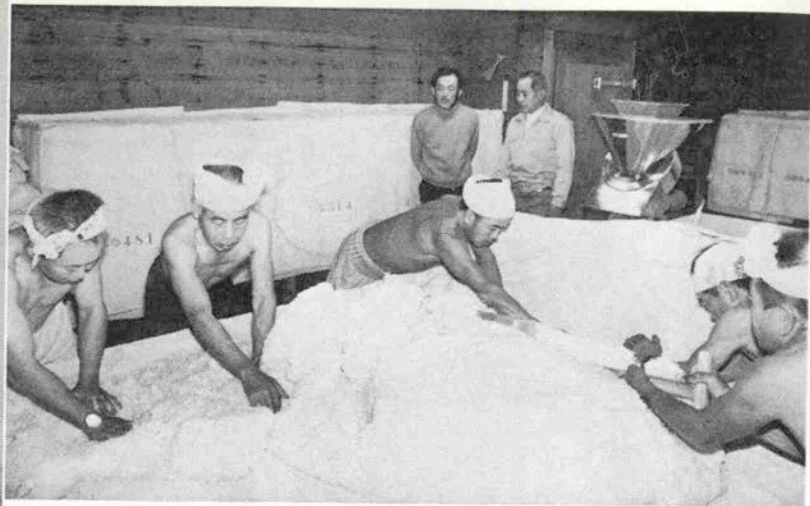
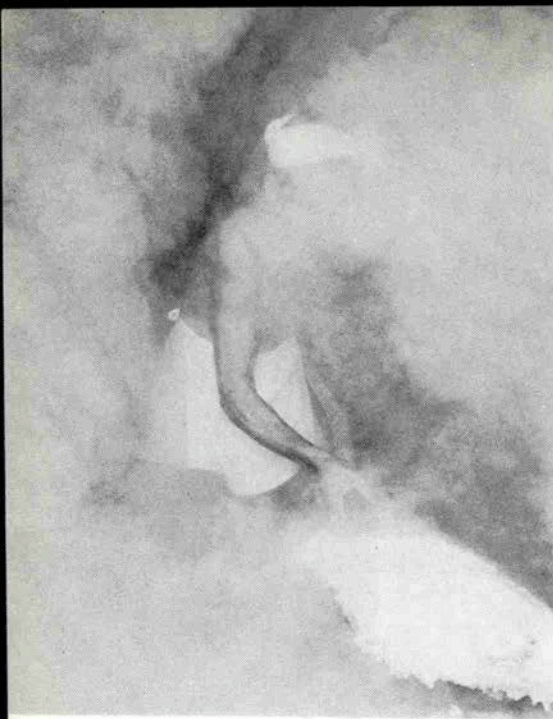
り、そして、その最大の拠点は、わが「灘五郷」なのである。

西郷(澤之鶴・月桂冠・忠勇ほか)、御影郷(白鶴・菊正宗・剣菱・福壽ほか)、魚崎郷(松竹梅・桜正宗ほか)、西宮郷(白鹿・日本盛・白鷹ほか)、今津郷(大関・白雪ほか)の五ブロックを合わせると、なんと五十八社の酒造工場がある。カッコ内の名を見ればわかるように、全国銘柄は圧倒的に、灘に集中しているのだ。

もちろん、「寒造り」は真冬である。頃は良し、年の暮れの一夜、酒造りの現場を見学することにした。主な工程は、明け方の四時ごろから始まる。泊り込み先は、西宮戎神社から西宮港に向かって少し南に歩いたところにある「白鹿」のメーカー・辰馬本家酒造の工場である。

工場と言っても、私が見学したのは、古ぼけた蔵の一つ(新田十四番蔵)だった。この会社には、新・旧の蔵が十一もあるが、日本酒が洋酒に押されて減産された過程で、その六つは稼働していない。が、それでも、古い二つの蔵が動いているのは「手造り」の要素を多く残した製法が、良質の酒には必要だからである。この「新田十四番蔵」では「超特撰黒松白鹿千年寿」が造られている。

午前四時すぎ、蔵はすっかり活気づいて、職人たちが



室温 30℃ という室（むろ）の中で麴（こう）が取り込まれていく

こしきから摂氏百度の蒸米を素早く取り出す

こうした酒造り過程を現場で管理してのが、ベテランの「杜氏」だ。広い意味では、杜氏とは「酒造季節従業員」一般の俗称だが、本来は、一つの蔵をあずかる現場の最高責任者の肩書きで、何十年ものキャリアと資格がないとなれない。

新田十四番蔵の場合、杜氏はこの道四十数年の野田勇さんである。ガツシリとした体つきの

忙しそうに立ち働いている。木造りの樽はもはやほとんどなく、鋼製の巨大なタンクがたくさん並んでいるが、「蒸米」の入った大きな甕は、昔ながらの木樽である。ハイライトは、摂氏百度にもなっている蒸米を甕から取り出して「放冷」機に移す作業である。一人の職人さんが、ヤケドを防ぐためのバカでかい靴みたいなのを履いて、上半身はハダカで甕の中に入り、塊りになった蒸米を放冷機に移す。放冷は機械化されているわけである。片隅では、何百枚ものカーテン状のパンプスに貼り着いた酒粕を、ハガしては束ねる作業がおこなわれている。そして、奥の部屋では、大きなタンクに、二階から長い「棒權」をおろして入れては、なにやら掻きまぜたり温度を計ったりしている。

だが、蔵の中核とも言うべきは、高温・高湿の別室「室」である。厚くて重い扉を押して入ると、サウナのような熱気がムンムンしている。室温は三〇度近くある。ここで「麹取込み」、つまり、麹菌を繁殖させるわけだ。ここでも上半身ハダカの職人が、米を手で攪拌しては、何枚ものパンプスを上に重ねたりしている。

麹がこうして「育て」られてからはじめて「酛」（酒母）、さらに「醪」が仕込まれ、それらの過程で「宮水」が加わり、その上で醪を、酒槽でしぼって「酒」と「粕」に分離する「上槽」過程、そして最後に上澄みを取る「滓引き」、加熱のための「火入れ（酒焚き）」・「熟成」（三カ月）となる。



この道四十数年の野田勇さん。早朝の杜氏たちの手作りの味が酒のうまみを作り出す

しかし物静かで端然とした、さすがに風格のある老職人である。雪深い丹波の人らしく、最初は口重い印象だったが、こちらの幼稚きわまる愚問にも、懇切に答えてくだった。

微生物は生きてるから、二十四時間「お守り」をしなければならぬ——と、野田さんは言う。で、十数人の職人をあずかって、数時間おきに、米・麴・醗の状態をチェックしなければならぬ。だが、蔵人を集めるのも、賃金（意外に安い）のアップを会社に求めるのも、杜氏たちの仕事だ。事故・病氣・火災の防止にも、神経を使わねばならぬ。

野田さんの最大の悩みは、「人集め」らしい。昔なら、酒造りに出掛けるのは、一つの誇りでもあったし、使ってほしいと頼まれたものなのに、今は逆で、頭を下げて

まわっても人がそろわないから、能登にまで求人に出かけることもあるとか……。平均年令も高まるばかり（五〇代）である。

部分的に機械化され、労働者保護がススんだ今に比べると、仕事は、はるかにラクになったが、スキんシツプもなくなり、歌声も聞けなくなった——と、野田さんは、感慨深げにつぶやきながら、古ぼけた小さな手帳のようなものをみせてくれた。

それは、酒造り唄を集めた小型のパンフレットだった。その黄ばんだ紙の中に、野田さんの青春と壮年期が閉じ込められているにちがいない。酒造り唄には、故郷を遠く離れて厳寒の季節に重労働する職人たちの、望郷の想いや、逃げ出したくなるほどの苦役への歎きが、行間に、さりげなく、歌われている。それを大きな声で歌うのは、寒さと辛さを忘れるためでもあったのだ。

だが、もはや、歌いながらの酒造り——つまりは古典的なプロセスを、そのまっつき姿で見ることが、できない。それを古い道具・人形・映像で再現しているのは、西から順に、沢の鶴・福壽・白鶴・菊正宗・白鹿などの記念館・資料館・博物館である。こういうところの展示物を観て、はじめて、酒造りの伝統がどのようなものであったかが、理解される。一晚、蔵に泊り込んだぐらいでは、よくはワカらない。また、各資料館では、お酒が安く買える。

もっとも堂々と風格があるのは、文化財クラスの木造の酒蔵（大正初期の建物）をそのまま使った、「白鶴酒造資料館」だ。年間三万人もの見学者が訪れ、外人も多い。担当課長の堀軍治さんによると、若い女性が次々にタクシーで（／＼）乗りつけるらしい。「おかげで、落ち込んでた当社の売り上げも、また上向いてきました（五百万円——灘で一位）」と、明るい表情である。全般的な「日本再発見」ムード——とくに、若い女性と外国人の需要がふえ始めたこと、それに、美容・健康法その他へ



白鹿記念酒造博物館にこの人あり・南野武南さん（左）赤レンガの葉敵な博物館をまわれば酒造りの全てがわかる（中）ここが宮水発祥の地（右）

の多的な応用が、大きいらしい。

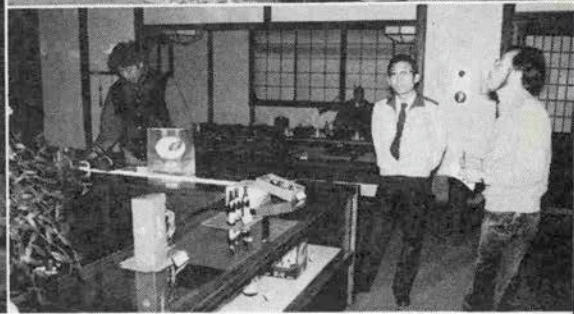
白鶴とは対照的に、地味でひっそりしてはいるものの一段と粋なのは、「瞬間凍結酒」で知られる福壽酒造が開設したばかりの「酒心館」だ。スペースは、きわめてささやかだが、三つの特色がある。自社製品だけでなく、（１）兵庫県の特産品を展示・即売しており、（２）地元のアーチストのギャラリイともなり、（３）立派なお盆と器で、お肴つきの生酒を飲ませてくれる（五百円）。

もちろん、とくに（３）がカンジンで、私の大好きなイクラが、オロシ大根の上に乗っかっており、ユニークな菜漬けまで添えてあり、おまけに、その器がヒョータンの形をした白い陶器（出石焼きか？）で、大きなグイ呑みとともに、黒い塗り・矩形の可愛いお盆に鎮座しているのである。デリカシイがある。ついでながら、運んできてくれるのは、ハッピを着た、カワユイ甲南女子大生である。

ここでは、銀髪の上品な紳士、足立有常務（技師長・工学博士）が、蔵を案内してくださったが、ここは、白鹿のにもましてアンティークだった。なにしろ、「明治以前」の蔵（完全木造）と、戦前製の酒槽が、いまだに使われている。そんなのは、おそらく、ここだけだろう。NHKテレビも紹介したばかりである。

だが、もっともモダンなのは、赤レンガ造りの瀟洒な「白鹿記念酒造博物館」だ。ここには、異人館風の「辰馬喜一郎邸」が付設されており、「おみやげ物」が完備しており、プロ・アマの描いた酒蔵の絵や戦前のポスターが、たくさん壁に飾られている。

事業部長は、西宮市の元図書館長・公民館長にして『西宮文学散歩』（のじぎく文庫）や『西宮文学風土記』（神戸新聞出版センター）の著者として知られた南野武衛さんである。人目を惹く知的美人の若き女性学芸員が運んでくれ、豪快・酒脱な「戦中派生き残り」たる南野さんと酌み交した「白鹿」の味は、また格別だった。



昔ながらのたたずまいを残す福壽酒造（左）ここにもまだ手作りの味が生きている（中）瀬五郎を跨る白鶴の記念館。酒店関係の見学者も多いという（右）

★白鹿記念酒造博物館 ☎0798・33-0008 火曜日休館

阪神西宮駅南出口から南へ徒歩10分

阪急西宮北口駅、国鉄西宮駅から阪急バス「朝風町」
行き東町下車西へ3分

国道43号線、西宮神社を南へ折れて3分

★白鶴酒造資料館 ☎078・841-4105 土・日・祝日休館

阪急御影駅から車で10分

国鉄住吉駅から徒歩15分 阪神住吉駅から徒歩5分

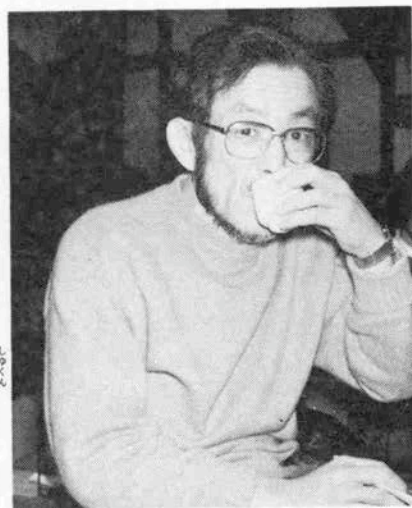
★福壽酒造酒心館 ☎078・841-6977

12月中旬～2月28日

阪神石屋川駅から徒歩8分

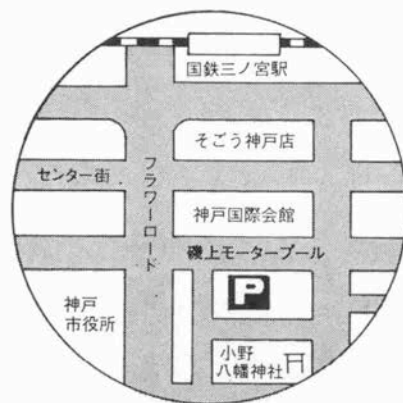
か？！

それなくとも、年中、全身から酒蒸^{しゅん}を発する私は、
「日本人なら、神戸っ子なら、なんでもっとサケを飲ま
へんのや」と、心中ひそかに叫ばずにはおれない。
洋酒ばっか飲みやがる「非国民」どもよ、モンクあつ



何といっても日本酒のこの味。こたえられません

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休